

生徒①

私は、自然班の水質グループで約半年間活動してきました。今年初めて自然班に入ったので、始めは何も分からず、正直うつしの祭での発表までたどり着けるか不安でした。しかし、自然班の空気感はとても良く、毎回楽しく活動することができました。そして、うつしの祭本番では、色々な場所に行って分かった実験結果をまとめ、発表することができました。更科周辺の水質はかなり良いこと、しかし生物が少ないことを更科周辺の現状として、しっかり伝えることができたと思います。

私は人前に立つことが苦手だったのですが、うつしの祭の発表ではクイズパートやダンスに挑戦することができました。また、自然班の他の人と仲を深めることができました。この活動のおかげで、自分自身の様々な部分が成長したと思います。私は3年生なので、来年度からの活動には参加することができませんが、後輩に今年度の反省をしっかり伝えて、次年度に生かしてほしいと思います。

生徒②

僕は自然班で現地調査のときに自分が調べなければいけないところをしっかりと理解して、川に行ったときにクレソンなどを見つけられてよかったです。クレソン班のみんなですライドを作り、やり直したりしてみんなで協力してできていたから良かったです。発表練習をするときには、読むのが早かったりしたからゆっくり読めるようにしたかったです。でも練習を重ねていくうちに、少しずつゆっくりと話せるようになったから良かったです。面白い役をやるときに、恥を捨てて全力でできたから良かったです。本番では堂々と話せて演技もできてよかったです。来年は自分たちが後輩を引っ張らなきゃいけないからしっかりとひっぱっていけるようにしたいです。

生徒③

うつしの祭の練習が始まってから、本番までの練習があっという間で一時間一時間を大切に現地調査に行ったり、まとめ学習を行ってきました。私達自然班のテーマ「更科の環境を改善し自然を豊かにしよう」というテーマにそって3つのグループに分かれ活動してきました。

現地調査では、鹿島川の生物の発見、水質の調査、クレソンの採取をそれぞれが調査し、まとめることができました。鹿島川にみんなで入り準絶滅危惧種であるスナヤツメを発見することができ、とても嬉しかったです。

クレソンでは、2年生が自由研究をしていて食べれることを知りました。いろんな種類で食べていて、いい発見ができました。

水質班は去年と比較してグラフで表せたことで、わかりやすくまとめ地域みなさんに発信できました。

来年は今年の反省や引き継ぎ事項をいかして、頑張してほしいと思います。

生徒④

うつしの祭でよかったことは、セリフを覚え大きな声で喋れたことです。最初は、長いセリフを言うのは初めてでなかなかセリフを覚えるのが難しかったけれど、家で練習をしたり総合の時間に練習をして回数が増えていくごとにスラスラと言えるようになりました。マイクを使うことがなかったので広い体育館のなかで他の人にしっかりと聞こえるように大きな声で喋ることを心がけました。

来年は、最後のうつしの祭なので自分たちが引っ張って行けるようにしたいのと、今回よりも良い発表にできるように頑張りたいです。

生徒⑤

私は初めて自然班に入って、最初は「川に入れるから楽しそう」という軽い気持ちで入ったけれど、現地調査に行ったり、まとめをしたりしていくうちに更科の現状や更科にいる生き物・準絶滅危惧種などを知っていくうちにこれは自然環境の問題かなと自分たちで考えることができました。

現地調査のときに見つけた生き物の中に、知らない生き物がいたらインターネットの力を借りて、自分たちで考えて調べることができました。この自然班で、自分で考えて行動する力やみんなで話し合い、それを発表する力がついたと思います。

来年は今年見つけたスナヤツメ以外の生き物や準絶滅危惧種をたくさん見つけたいです。私達の活動が自然環境を守るような活動（色々な生き物を見つけ、その生き物についてうつしの祭の場で小学生、中学生そして地域の皆さんに知ってもらい、「この生き物を守りたいな」そう思ってもらえるよう）になれたらいいなと思いました。来年になったら2年生になり、1年生にたくさんのことを教え、先輩として引っ張っていけるようにしたいです。

生徒⑥

水質班に入った時に最初は何をしたら良いかや、それをやる方法も分かりませんでした。ですが、水質班に入っていた後輩達と協力したことで、記録などの工夫をしてうつしの祭で最高の発表をすることができました。個人的な感想を言うと、今回のメンバーは僕にとって、すごくコミュニケーションがしやすいメンバーでした。また新しい人が増えても上手く接して良い調査にしてほしいです。そして班が変わっても改善点を糧にして良くなってほしいです。

生徒⑦

僕は、3年間自然班で、更科の自然について調査し、うつしの祭で更科の自然の素晴らしさなどを、うつしの際でたくさんの人に発表することができとても光栄でした。

総合の時間で、更科の川の現地に行き、実際に自然環境を観察することで身近に存在する貴重な生物を発見することができ、僕にとってとても貴重な体験でした。さらに、準絶滅危惧種のスナヤツメを発見することができ喜びを感じました。しかし先輩方の話を聞いていると、今まで更科に生息していた生物がいなくなっているのもわかりました。その話を聞き、責任感を感じました。これらの生物は、絶滅の危機に追いやられていて私達で守っていくべ

き存在だと思えます。このことをうつしの祭で地域の方々に重要性を伝えることで、更科の自然について関心を持ってもらえることを願っています。

この発表を通して、更科の自然の豊かさや準絶滅危惧種の保護の重要性を感じました。これからも、地域や自然のことに関心を持ち続け、自然保護活動などに、積極的に参加したいと思えます。3年間本当にありがとうございました。

生徒⑧

今年度から生物班・水質班の2つから、新たにクレソン班という班が加わり、昨年度より、より詳しくより深くそれぞれのテーマについて調べることができました。現地調査では、互いのグループで助け合い調査することができました。ただ、準絶滅危惧種でもあるスナヤツメなどの生物は全体的に昨年度よりも発見できた数が減ってしまったので、来年度は調査する場所に変化をつけてみたり、見つけた生物が本当にその生物かをちゃんと調べたりして現地調査に行くだけでなく、さらにそこから自分たちで調査の内容を深めて次に繋げていってほしいです。今年度からスライドをパソコンではなくギガタブで作ることになり、1から自分たちで調べたことや考えたことをわかりやすくまとめることはとても難しくはありましたが、まとめる最中に新たに発見できたことも多く、自然班の発表をよりよいものにするのができ、皆で作った後は達成感がありました。また、うつしの祭では昨年度から引き続き劇を発表の中に交えて、見てくださっている方々に少しでも楽しく更科の自然について知ってもらえたらと思い、初めてシナリオ作りにも参加したり、替え歌を作ったりしました。シナリオ作りは想像していた何倍も大変で時間がかかってしまい、皆に迷惑をかけてしまったこともあったけれど、先生方のサポートや一緒に作った仲間たちのおかげで最後までこだわってよりよいものにするのができたのではないかなと思っています。

私は自然班として活動する中で、更科だからこそできる、とても貴重な経験をたくさんすることができ、多くのことを学びました。3年間、毎回新しい発見ばかりでとても楽しかったです。これで終わってしまうのは寂しいけれど、卒業しても自然を大切にに関わり続けたいです。

生徒⑨

僕は、自然班2年目で後輩が入ってきて最初は、自分がしっかり後輩のお手本としてやれるか分からなかったけれどやってみたらしっかりお手本になれたと思うので良かったです。クレソンについて発表することになったときは、自分がしっかり発表できるか心配だったけれどしっかり発表する内容などを考えてしっかり発表することができたので良かったです。来年は3年生として下の学年をしっかり引っ張っていけるようにしたいです。それと、もっと恥ずかしがらないでやれるようにしたいです。

生徒⑩

私は、水質の測り方など初めてでわからないことが多く大変でした。けれど自分ができることを探し実行できました。今年度は、川に入ったけれどもあまり多くの種類の生物を見つけることはできませんでした。ですが昨年度調査しなかったプールにいる生物の調査や水質

など昨年度はできなかった調査も今年度はできました。来年度は今年度と水質を測定する川を統一してグラフなどにまとめていきたいです。また、来年度は測定した日など細かいところまでメモしてより正確にしていきたいです。今年度は水の改善点をあまりかんがえていなかったのので来年度は考え発信して実行していきたいです。来年度は今年度よりいろんなことに取り組んでいきたいです。

生徒⑩

うつしの祭で頑張った事は、言葉を覚えて発表したことです。言葉を覚えるのは大変だったけれど練習したおかげで言葉を覚えることができました。工夫したことは、マイクの使いかたです。音を拾いやすいようにマイクの変角を変えて声を聞きやすくなるように工夫しました。良かったことは、みんなで協力してできたことです。現地調査に行ったりスライドにまとめられたりして良かったです。反省しているところは、発表しているときに振り付けをつけられなかったことです。

生徒⑫

私は自然班の中で、主に水質班として活動しました。水質班では主に、水温・cod・phの調査を行いました。集中して調査に取り組み、それぞれの結果を表にわかりやすく示すことができました。また、調査がスムーズに進み時間が余った際は、生物班・クレスン班の手助けをすることができました。

スライドでは、先輩方に様々なアドバイスを頂きながら、アニメーションをつけたり、文章を載せることができました。特に、codやphの説明文は誰が見てもわかりやすいように、よく考えながら打ちました。

うつしの祭の発表で、水質班は説明が中心だったので、聞いている人に伝わりやすいよう、声を大きく、言葉をはっきり出すことを意識して話しました。最初は、声が小さく自信を持って言葉を発することができませんでした。何度も練習を繰り返し、本番では練習の成果を発揮して今までで一番わかりやすく説明することができました。さらに、締めめのダンスでは盛り上げられるよう恥じらいを捨てて踊る事ができました。ただ、表情を柔らかくすることを忘れてしまったので、来年のうつしの祭では表情にも意識して、気を付けようと思います。